第三週　神の福音の構造—神の義、キリストの命、信者の信仰

詩歌：
（中）補充本：410，1001，1002

Ⅰ 神の福音の構造の三項目を認識する:神の義、キリストの命、信者の信仰 /ローマ1:17注4

ローマ人への手紙の神の福音に関するかぎとなる言葉、神の福音の構造の啓示 - **義人は信仰によって命を持ち、そして生きる**
ローマ人への手紙における神の福音に関するかぎとなる 言葉と、神の永遠のエコノミーの標語は、ローマ第1章 17節です。/2009夏季訓練

認識：神の救いの二つの面

Ⅱ 『義認』は救いの手続きです:神の義は、神の救いの法理的な手続きです /ローマ1:16-17

A 義は人に対する要求：神の義の要求が満たされなければ、神は罪人を赦すことができません。神の義によれば、「罪の報酬は死です」 /詩103:6-7;エゼ18:4,ローマ6:23
1 キリストは身代わりの死を成し遂げた：キリストは罪人の身代わりとして、身代わりの死を成し遂げました。 /イザヤ53:5-6;Ⅱコリ5:21
2 キリストは義なる裁きを通過された　：義なる方は、不義な者である私達に代わって、義なる神によって神の義にしたがって裁かれました　Ⅰペテ3:18;Ⅱコリ5:21
3 キリストは義の要求を満たされた　：神のすべての義を 満たしました。今や、彼の義のゆえに、神は私達を赦さなければなりません /Ⅱコリ5:21;ヨハネ19:30

B 義は神に対する束縛：神は彼の義によって縛られていて、私達を赦さなければならないので、義は神の救いの力であり、私達の救いの揺り動かされない土台です /ローマ1:16-17
1 神の御座の土台　：神の義は、神の御座の確固とした、堅固な、揺り動かされない土台であり、また神の王国が建造される基礎です /詩89:14;ローマ14:17
2 主の復活は領収書：神はキリストを死に渡して、私達の身代わりとしました。神はキリストの死が私達の 罪の負債を完全に支払ったことを承認しました
神の右に座っている復活し昇天したキリストは、この支払いの「領収書」です /ローマ4:24-25
3 人が赦される把握：いつであれ私達がイエスの血を宣告して、神の義に訴えるとき、神は私達を赦す以外に選択はないのです /Ⅰヨハネ1:9

C 義認は分与のため：命は神の救いの目標です。こういうわけで、義認は「命の」義認です。神はご自分の命を私達の中へと分け与えることができます /ローマ5:18

Ⅲ 『命』は救いの目的:キリストの命は、神の救いの有機的な目的です /ローマ5:10

A 命に対する完全な享受：私達が義とされた結果は、キリストの中で神を私達の命として完全に享受することです—神の有機的な救い /ローマ5:1-11

B 救いに対するダイナミックな経験：キリストの救う命は以下の方法で、神のダイナミックな救いの有機的な目標を完成します /ローマ5:10

1 義とされ神の御前で生きる：私達がこの命の中で、神の御前に生きるため /ローマ1:17
2 再生され多くの子となる：キリストの多くの兄弟たちとなる /ローマ8:14; Ⅰペテロ1:3
3 成長し円熟へと至る：キリストの中で成長させ円熟へと至る /ローマ8:11
4 命の働き：命の霊によって信者たちの中で働く /ローマ8:5-6
5 聖と聖別：この命は、聖なる要素をもって、私達を聖別する /ローマ6:19
6 更新と構成：この命は私達を更新し、古い人の古い要素から、新しい人の新しい構成へと更新する /ローマ12:2;テトス3:5
7 造り変えと建造：この命は、私達を造り変え、キリストのからだを建造する /ローマ12:2;Ⅱコリント3:18
8 同形化と表現：この命は、私達をキリストのかたちへと同形化し,三一の神を表現する /ローマ8:29
9 贖いと栄光化：この命は、体の贖いを通して、私達を栄光化して、完全な子たる身分へと入らせます /ローマ8:30
10 王とし支配する：この命は私達を王とならせ、サタン、罪、死を王として支配させる
11 すべてはからだのため：以上の項目は、キリストの有機的からだを生み出し建造して、諸地方召会として表現させる /ローマ5:17,21

《神の有機的な救いを経験する》
神は私達を再生して、彼の神聖な命を得させ、
私達を更新して、彼の神聖な新創造とならせ、
私達を聖別して、彼の神聖な性質を得さえ
私達を造り変えて、彼の神聖なかたちを得させ、
私達を同形化して、彼の神聖な成分を得させ
私達を栄光化して、彼のかたちを完全に得させます。
私達は神の有機的な救いによって、彼の命の中で王として支配し、彼の永遠のエコノミー完成して、彼の神聖な目的に到達します。
/1997華語特別集会標語、補充1001

第三週（続き）

経験：神の救いの実体化

Ⅳ 『信じること』は救いの実体化：信者の信仰は、神の救いの実行上の実体化です /ヘブル11:1,6

＊信じる（流れ込む）

A 信仰はキリストから来る ：『信仰』は、実は彼ら自身の信仰ではなく、キリストが彼らの中へと入って彼らの信仰となることです /ローマ1:12,3:22注1;ガラ2:16注1

B 信じることは評価すること ：キリストの中へと『信じること』は、彼に対する私達の評価であり、彼の引き寄せることに対する反応です /ヘブル12:1-2

C 信仰は言葉を聞くことから ：信仰は言葉を聞くことから来ます。私達が書かれた言葉（聖書）の中の生ける言葉（キリスト）に来るとき、彼は私達に対して、適用された言葉（その霊）すなわち、信仰の言葉となります /ローマ10:8,17;ガラ3:2 啓19:13

D 言葉を聞くことは信仰を生む：人がキリストに聞き、彼を知り、彼を評価し、彼を尊ぶとき、彼は人の中で信仰を生み出し、人の中で信仰となって、人が彼を信じることができるようにします /ガラ5:6

E 神はある、私はない ：信仰とは、「神はある」と「私達はない」を信じることです。彼はあらゆる事においてただひとりの方、唯一の方でなければならず、私達はあらゆる事において「ない」でなければなりません /ヘブル11:1,5-6

＊実体化（構成/流れ出す）

F 有機的結合：私達の信仰の霊を活用することにより、信仰によって生き、キリストを信仰として人の中へと注入します
それによって、彼らは彼の定められた御旨のために、以下のようなキリストとの有機的な関係の中へともたらされます /ローマ10:14-17

1 木と枝 ：キリストは栽培されたオリブの木、またぶどうの木であり、私達は彼の枝です /ローマ11:17,24;ヨハネ15:5
2 かしらと肢体：キリストはかしらであり、私達は彼の肢体です /Ⅰコリ12:12,27
3 命と供給 ：キリストは命の息、命の水、命のパンであり、わたしたちは彼を呼吸する者、彼を飲む者、彼を食べる者です /ヨハネ20:22,4:14,6:51,57
4 花婿と花嫁 ：キリストは花婿であり、私達は彼の花嫁です /ヨハネ3:29-30

G 実際化と適用：信仰とは、私達の中で実際化され、私達の全存在に適用された主観的な神です。（実際化とは構成されること）
こういうわけで、神にとって不可能なことはないように、信仰にとって不可能なことはないのです /マタイ17:20;19:26

H 命を生かし出す：信仰の大いなる、抑制することのできない、無限の力によって、多くの人は動機づけられて、主のために苦難を受け、命の危険を冒し、勝利を得た遣わされた者また殉教者となり、神の永遠のエコノミーの福音を地の果てにまで広めます
（かぐわしい香の証を流し出す） /使徒20:24;1:8

《神の有機的な救いの六段階》

1. 神は私達を再生し、神の命に与らせます /ヨハネ3:15,10:10;ローマ8:10/6/11
2. 神は私達を聖別し、神の性質に与らせます /エペソ1:4;Ⅱペテロ1:4
3. 神は私達を更新し、神の思いに与らせます /エペソ4:23;ピリピ2:5
4. 神は私達を造り変え、神のであるに与らせます /Ⅱコリント3:18;エペソ3:8
5. 神は私達を同形化し、神のかたちに与らせます /ローマ8:29;Ⅱコリント3:18
6. 神は私達を栄光化し、神の栄光に与らせます /ローマ8:30;ヘブル2:10